

第130号

2017

7.15

# かわにし

議会だより



## 声をからして

大塚地区運動会 P9に関連記事

議会後期体制スタート 開かれた議会、活性化に全力 …	2
2 特別委員会を設置 ……	4
庁舎建替など5 議員が町政をただす …	10
特集 議会活性化、ここが違う …	22



# 開かれた議会、活性化に全力

5月  
臨時会

## 後期体制 スタート

常任委員会の所属は2年と定められており、5月1日に臨時会を開催し、所属替えを行った。この結果、後期2年の議会体制がスタートした。

### 副議長に 遠藤章一議員



副議長は、議会の申し合わせにより2年で交代することとされており、高橋照夫副議長の辞職を許可した後、副議長選挙が行われた。議会では、立候補する者の所信表明を休憩中に行うこととしている。投票の結果、遠藤章一議員が14票、無効1票となり、同議員を副議長に選出した。

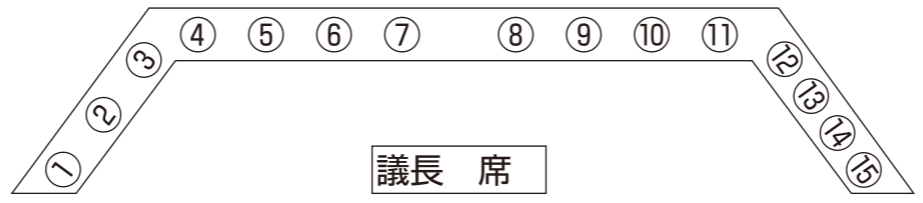
各常任委員会、議会運営委員会の委員を選出したほか、議会図書室運営委員会委員が議長から委嘱された。

なお、6月定例会で二つの特別委員会を設置したほか、議会図書室運営委員会委員が議長から委嘱された。

出し、常設の予算特別委員会を設置した。また、置賜広域行政事務組合議会議員、置賜広域病院企業団議会議員も新たに選出された。

### 新たな人事 決まる

- 議長 加藤 俊一
- 副議長 遠藤 章一
- 議会選出監査委員 高梨 勇吉
- 総務文教常任委員会 橋本 欣一
- 産業厚生常任委員会 高橋 照夫
- 議会広報常任委員会 佐々木 賢一
- 議会運営委員会 斎藤 修一
- 予算特別委員会 齋藤 秀夫
- 議会図書室運営委員会 遠藤 章一
- 置賜広域病院企業団議会議員 加藤 俊一
- 置賜広域行政事務組合議会議員 加藤 俊一



※議長は任期4年、副議長は申し合わせにより任期2年としている。



6月定例会の  
あらし

第2回定例会が6月6日から20日までの15日間の会期で開かれた。  
第1日目に、平成28年度繰越計算書の報告、財政援助団体の経営状況3件の報告の後、3会計補正予算の専決処分を承認した。平成28年度4会計補正予算の審査を予算特別委員会に、条例2件、過疎地域自立促進計画の変更、字の区域、名称の変更、請願1件の審査を常任委員会に、それぞれ付託した。

第3日目に一般質問を行い、5議員が庁舎建設等を取り上げ、町政をただした。  
第4日目に降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査した。  
最終日に、予算特別委員会の採決後本会議を開き、付託した8議案を原案通り可決した。請願1件の取り下げを許可し、追加提案された補正予算1件を可決して閉会した。なお、5月1日に第1回臨時会が開催されている。

# 議会 2特別委員会を設置

# 議員定数・報酬、新庁舎整備を検討

定例会第1日目に、委員会条例第5条の規定により、議員発議で二つの特別委員会を設置した。

### 議員定数や報酬を調査検討

議会活性化検討特別委員会は、議長を除く

14人で構成し、審査事件を「議会活性化に関する調査研究」とした。さらに論点整理のため、5人の小委員会を置くこととした。

- ①議員定数に関すること
- ②議員報酬に関すること

と  
③政務活動費に関すること  
④その他議会活性化に関すること  
設置期間は平成30年第1回定例会までの間、全国的な傾向として、町村議会の議員のなり手不足が深刻化している

### 新庁舎整備を調査

昨年発生した熊本地

震で被災し、防災拠点として機能しない市町村役場があったことから、国では平成32年度までを期限とした「市町村役場機能緊急保全事業」を創設した。

本町の役場庁舎は建設から58年が経過し、耐震診断の結果では震度6強以上の地震で倒壊との指摘を受けている。築47年経過の中央公民館と合わせると、耐震補強工事に17億円が見込まれている。

緊急保全事業は、事業費の90%以内の起債（借入金）が認められ、起債償還時に交付税措置（元利償還金の30%）があることから、この事業の採択を受け、新庁舎を整備することにした。

新庁舎整備特別委員会は、議長を除く14人で構成し、審査事件を「新庁舎整備に関する調査研究」とした。また議会活性化検討特別委員会と同様に、5人の小委員会を置く。

設置期間は、平成31年4月30日までの間。今後、先進地の視察調査等を行いながら、新庁舎整備について、具体的な提言を行う。

### 全員賛成により可決



快適で機能的な新庁舎整備を目指して

### 議会活性化検討特別委員会

委員

議長を除く14人

- 委員長 遠藤 章一
- 副委員長 高梨 勇吉
- 小委員会委員 齋藤 修一

- 齊藤 智志
- 伊藤 寿郎

### 新庁舎整備特別委員会

委員

議長を除く14人

- 委員長 金子 一郎
- 副委員長 神村 建二
- 小委員会委員 鈴木清左衛門

- 鈴木 幸廣
- 伊藤 進



# 補正予算

## 総務省補助事業 小松・吉島地区に交付金

一般会計補正予算(第2号)は、3136万円を増額。主な補正は、総務省の補助事業、過疎地域等集落ネットワーク圏形成事業に小松・吉島地区が取り込む。また、農業関連では産地パワーアップ事業等の採択により、事業費、補助額が確定した。

### 2地区に交付金 2750万円

小松地区では、  
▽「まちの花ダリアプロジェクト」ダリア素材の多面的活用検討や起業化への誘導  
▽「もの・ひと国際化」

吉島地区では、  
▽「交流による遠隔地相互コミュニケーションビジネス」沖縄県との農産物交流  
▽「生活支援支えあいチケット」高齢者世帯の生活支援  
▽「地域運営組織維持継続のための人材育成」の3事業に力を注ぐ。



H28年度補助・交流事業 高円寺阿波踊りで大いに盛り上がる = 小松地区

### CO<sub>2</sub>排出削減を推進

地域と連携した二酸化炭素排出削減推進事業として、国民運動「クールチョイス」(賢い選択)の普及啓蒙のため、本町と交流がある芸術家・大学教授の協力を得て環境トークライブや絵本朗読会・音楽出前講座・環境絵本作成・川西町交流館への壁画作成及び竹ランタンなどの事業を実施する。併せて本町の新たな魅力づくりを図る。予算額は326万円となる。

### 宝くじ助成 2地区に540万円

時田八幡宮獅子舞保存会では、獅子舞で使用する獅子頭や、警護の羽織・化粧まわしなどの備品を整備する。吉島地区自主防災組織では、LEDヘッドライトや防災用かまど、発電機などの備品を整備する。

### 産地パワーアップ 農業支援

農作業の効率化によるコスト削減や高付加価値への転換に取り組みる農業者に対して、機械等のリース導入に要する経費を支援し、経営安定と所得向上を図る。

申請件数は8件あり、大豆コンバイン、トラクター、ハロー、みみ乾燥調製設備、コンバイン、予冷庫などを予定している。予算額は3895万円。

### 主な質疑

**問** 庁舎整備事業の増額理由はなにか。

**答** 基本計画策定等支援業務委託料について計画策定及び設計業者選定に関し、専門機関からの業務支援を受けるものである。

**問** 林業施設災害復旧事業の内容は。

**答** 玉庭朴沢の堤沢林道が、融雪災害により、延長30mにわたって崩落したため測量設計費である。

**問** 虚空蔵山西線の減額の理由はなにか。

**答** 虚空蔵山西線と同様の理由で減額となった。

**問** 社会資本整備総合交付金の減額について、改築より防災に重点的に配分されており減額となった。

**意見** 事業の進捗については、財源確保も含め、関係市と連携を図り、一体となって早期完成に取り組むこと。

**問** 橋梁長寿命化事業の減額はなぜか。

**答** 虚空蔵山西線と同様の理由で減額となった。

## 平成29年度 各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第1号)	104億6336万円(3136万円を追加)	全員賛成により可決
一般会計(第2号)	104億6361万円(25万円を追加)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第1号)	5億2559万円(145万円を追加)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第1号)	19億8117万円(4030万円を追加)	全員賛成により可決

水道事業会計(第1号)予算		議決の内容
収益的収入	5億546万円(18万円を追加)	全員賛成により可決
収益的支出	4億9414万円(9万円を追加)	

## 一般会計補正予算の主な内容

(歳出)	
一般職員給与費等	▲977万円
コミュニティ助成事業 補助金	540万円
過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業 補助金	2750万円
庁舎整備計画検討事業 委託料	348万円
地籍調査事業 委託料等	▲583万円
つながる食育推進事業	112万円
産地パワーアップ事業 補助金	3895万円
虚空蔵山西線道路改良工事費	▲3891万円
橋梁長寿命化改善整備事業	▲350万円
議会費 特別委員会の設置による旅費等の補正	25万円
(歳入)	
過疎地域等自立活性化推進交付金	2750万円
二酸化炭素排出抑制対策事業等国庫補助金	326万円
社会資本整備総合交付金	▲4515万円
産地パワーアップ事業県補助金	3895万円
自治宝くじコミュニティ助成金	540万円
地籍調査事業費県補助金	▲535万円
ふるさとづくり基金繰入金	200万円



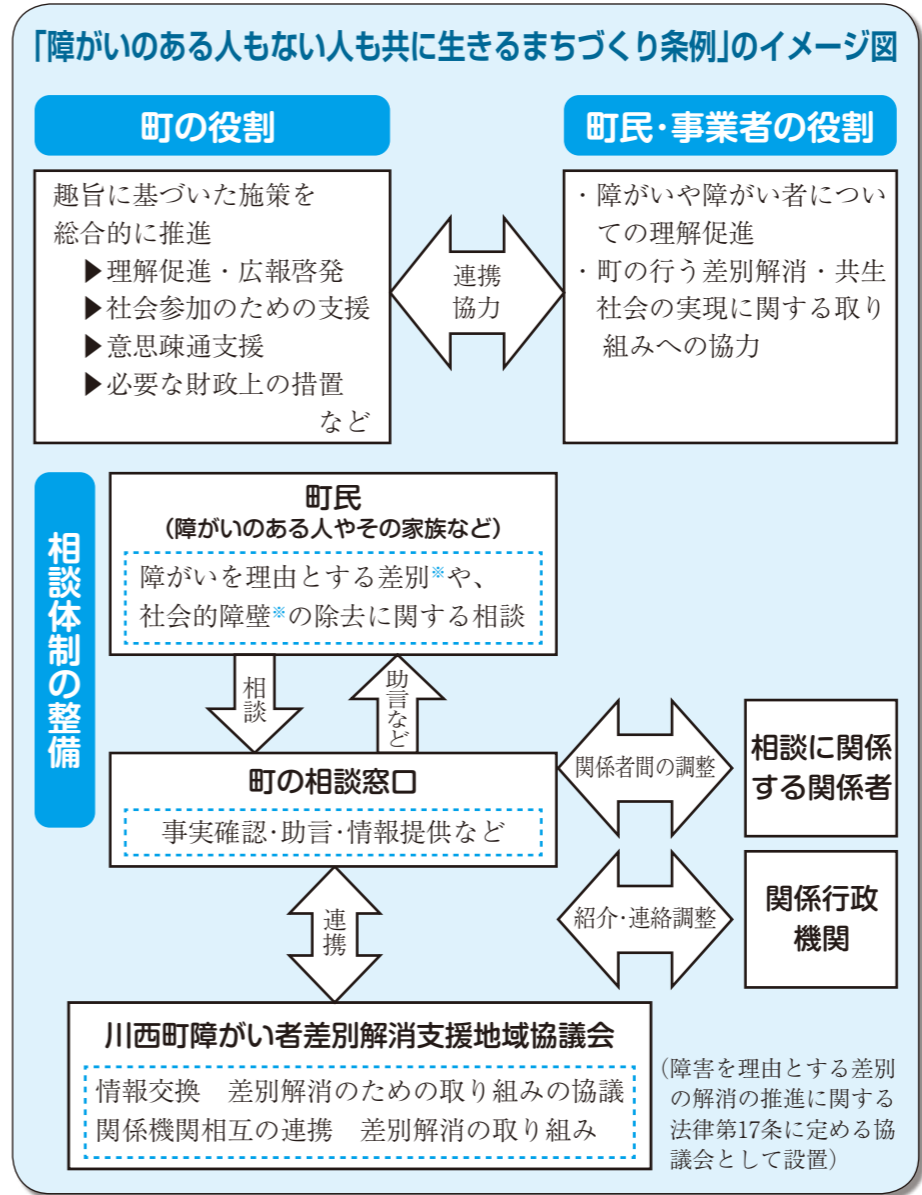
# 条例

## 共に生きるまちづくり条例

# 障がいのある人への理解・共生を

障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行を受け、障がいのある人もない人も共に生きる

きと自分らしい生活を営み、安心して暮らせる「共生社会」の実現を目指す条例を制定する。



障がいのある人もない人も共生する社会の実現を図る

主な制定内容

- (1) 町は、障がいを理由とする差別の解消の推進及び共生社会の実現に向け、施策を総合的に実施する。
- (2) 町民及び事業者は、障がいを理由とする差別解消の推進及び共生社会の実現に努めるものとする。
- (3) 町は、障がいを理由とする差別の解消の推進に努めるものとする。

とする差別に係る相談窓口を設置し、障がいのある人等からの相談に応じるとともに、助言や情報提供および関係者間の調整を行う。

(4) 障がいを理由とする差別に関する相談や、解消するための取り組みを効果的かつ円滑に行うため、関係機関により構成される川西町障がい者差別解消支援地域協議会を設置する。

地方公共団体としては努力義務的なものであったが、条例により差別解消を進める義務を負うことになった。

全員賛成により可決

### 差別・社会的障壁とは

**差別**

正当な理由がなく、障がいのない人にはつけない条件をつけるなどして、障がいのある人の権利や利益を侵害すること。

### 社会的障壁

障がいのある人が日常生活や社会生活を営む上で障壁となる事物、制度、慣行、観念など。

## 名称

# 「川西ダリヤパークゴルフ場」に

町営小松スキー場に整備されているにパークゴルフ場が平成29年10月に完成予定。平成30年にオープンされる。それに伴い川西ダリヤパークゴルフ場として、設置及び管理運営等の条例を制定する。

それに伴い川西ダリヤパークゴルフ場として、設置及び管理運営等の条例を制定する。

## 条例は全14条から

### 条例の概要

#### 1 制定の趣旨

健全なスポーツ、レクリエーションの振興と健康増進。地域間、世代間交流拠点、観光拠点として、平成30年にオープンする。

これに伴い、当該施設の設置・管理に関する条例を制定する。

#### 2 制定の内容

- (1) 名称  
川西ダリヤパークゴルフ場
- (2) 施設  
パークゴルフ

#### (3) 施設管理

指定管理による管理

#### (4) 使用料金

- ・パークゴルフコース
  - ア 大人500円
  - イ 小人250円
- (中学生以下)
  - いずれも一日

\* ジョギングコースは無料

\* 使用料金を超えない範囲で町長の承認を受けて指定管理者が定める。

#### (5) その他

川西町都市公園条例の有料公園に追加。  
全員賛成により可決

## 表紙の写真



### 声をからして

梅雨の中での開催となった大塚地区の運動会の一コマです。

早朝から役員の方々の排水作業のおかげで子どもたちからお年寄りまで、にぎやかな声が地域の中に響きわたりました。

少子化や高齢化などという暗いイメージがありますが、ガッテン、まだまだ盛り上がりつつ楽しんでいきます。

負けじと走る小学生、応援する親の熱気は運動会を盛り上げ、じいちゃん、ばあちゃんの腰も伸びた楽しい一日でした。



ここが聞きたい！

町政をただす

# 5人の議員が一般質問

定例会第3日目に一般質問が行われ、5人の議員が町政について質問した。

通告順（発言順）に掲載する。

11 <sup>P</sup>	神村 建二 議員 ① 高齢化に伴う交通手段の支援について ② 道路側溝の環境整備について
12 <sup>P</sup>	金子 一郎 議員 ① 役場庁舎建て替えについて
13 <sup>P</sup>	伊藤 寿郎 議員 ① 安定的な農業経営の確立を実現するには ② ふるさとづくり寄付金管理事業の今後の展開は ③ 地方創生人材支援制度の導入は
14 <sup>P</sup>	橋本 欣一 議員 ① 国民健康保険の都道府県化について ② 教育勅語の認識と道徳教科について
15 <sup>P</sup>	鈴木清左衛門 議員 ① 川西プロジェクト ② 非常時の備え ③ 通信環境の整備と展開の2

白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかった。

その内容は、議会ホームページの録画中継によって見ることができる。  
(<http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>)

### 一般質問とは

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしている。本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられている。

また、質問に対する答弁書が作成され、一般質問当日の朝に全議員に配布される。質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされている。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができる。

## 高齢化に伴う交通支援策はあるか

### 町長 - デマンド型乗合交通の活用を

**神村** 高齢ドライバーの「運転免許返納者」が増えるなか、そのサポート体制をどうするか。

**町長** 高齢者ドライバーによる重大事故が多発し、社会問題となるなか、本町においても「返納者」が増加傾向にある。返納者に対する支援として、現在町内タクシー会社で「乗車時の運賃一割引サービス」を行っている。

**神村** 「買い物物困窮者」への支援策は、クルマなどがない「買い物困窮者」に対する支援策と

は、前日までに予約とする現行方式で進めていきたい。

しては、「デマンド型乗合交通」を運行し、町内どこでも乗り降り自由な生活交通手段として、おおむね好評を得ている。

また、吉島地区において総務省の補助事業の支援を受けながら、地区独自の事業「高齢者等買い物弱者支援サービス・見守り支援事業」を実施している。

要望が高い「デマンド型乗合交通の当日予約」は、タクシー会社から最大限の協力を得て運営している。当面は、前日までに予約とする現行方式で進めていきたい。

### 側溝清掃のガイドラインを示せ

**神村** 毎年自治会を中心として行っている側溝清掃の取り組みについて、その作業のガイドラインを示して効果が上がるようにすべきだ。

側溝清掃は、基本的に内部の汚泥を取り除く作業であるところから、町では、側溝のふた上げのための器具の貸出し、土のう袋の提供、汚泥の処理をしている。

ガイドラインについては、各地区や自治会の実情に合わせて自主的に取り組みが行われているものにとらえており、必要性が生じた場合、検討していきたい。

**神村** 消火栓使用に減免措置を。

消火栓の使用については、一部ふた上げが不可能な暗きよ管の場合と考えられ、消火訓練と連携して行っている自治会も

あり、各地区の自主的な取り組みとして継続していただくことを期待する。

また、実態把握と課題解決のための町関係機関連携会議の立上げについては、現在取り組みが確立されているものと認識しており、各課が連携して現状把握と解決に努めたい。



神村建二 議員



グレーティングを上げ泥上げ作業



# 一般質問

## 庁舎建設

### 新庁舎建設大丈夫か

#### 町長「国の支援があるうちに建設したい」



金子一郎 議員



町民にわかり易く、計画の丁寧な説明を

**町長** 建設費の総額はどの位になるのか。

**町長** まだ積算段階で公表できない。新庁舎整備推進会議を設置しているが、9月定例議会ころまでに基本設計を立ち上げ、そのなかに概算事業費を見積もっていく。

**町長** 借金が大幅に増えるのでは。現在の町債残高は130億円弱

**町長** 国の支援はどの位見込めるのか

**町長** 事業費の1割は自主財源で、残り9割は借り入れで起債対象経費の

であるが、このうち81億5千万円程度国から支援を受けられることから、実質44億4千万円程度が町の負債と見込んでいる。今後有利な財源確保に努め将来負担の軽減を図っていく。

**町長** 国の支援はどの位見込めるのか

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 他事業への影響は出ないのか

**町長** 各事業推進については、住民サ

ービスの低下を招くことのないよう進めたい。それには税収の確保、補助事業の活用などに努めていくが、選択と集中も求め、事業の見直し、業務改善などを進め計画を策定していく。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

**町長** 生涯活躍のまち基本構想などに基づき取り組み、人口規模を確保していきたい。

## 安定的な農業経営の確立を

### 町長 - 就農しやすい環境整備に取り組む

#### 就農者支援

**町長** 新規就農者が参入しやすい環境整備、参入後の経営確立がイメージしやすいモデルケースの提示は、町独自の支援事業による認定新規就農者のニーズに沿ったきめ細かな支援を行う。また、新規就農者確保対策事業等によるIUJ就農希望者に対する本町での就農の動機付けと、移住・定住を図るため農業情報を発信する。地域おこし協力隊農業研修生の雇用就農支援、各種支援を総合的に実施し、環境整備に努めていきたい。

**町長** 個別経営の法人化支援は、平成28年度に山形県農業経営法人化支援協議会が設置された。町産業振興課も支援チームの構成員として、入門研修や実践研修の企画・周知により、農業経営体からの相談窓口及び立ち上がり支援への適切な指導助言を行っていく。

**町長** グローバル化を見据えグローバルGAP、HACCP等の導入支援及び教育の拡充、新技術の導入経営の多角化など経営発展に向けた予算を拡充する等の支援措置は、

**町長** 農産物の品質向上、農業生産工程と有機認証は町としてマスタープランの中でも推奨する。農業以外、製造業での生産工程の横展開も必要なので学習会を設ける。アシストスーツ等の導入支援は

**町長** 作業負担軽減に繋がるアシストスーツ等の先端技術の開発・普及に対するスマート農業に向けた支援事業は、

**町長** ソフト事業として「農業労働力最適用支援総合対策事業」が創設されている



伊藤寿郎 議員



うまい米づくりで未来の担い手に



# 先進的な田舎づくりを

## 町長 - 検討が必要、現状では困難

**鈴木** 先進的な田舎づくりについて提案したい。①『展望室 & FM放送局付き発電風車』は、川西町の山を利用して、市民と企業出資で建設する。

②『ローカル鉄道応援酒「鐵の道」山形鉄道フラワー長井線×中沖酒造』は「鐵の道」探訪ツアーを全国的に行うもので、全国に11の「鐵の道」があり、桜前線とともに、「鐵の道」の地を訪ねるツアーを企画する。関連して地域活性化映画「料理人ワタナベ」の映画を制作、当該撮影地は

500万円の負担により、映画を撮影できる。それは撮影隊の食事、宿泊、セット制作などの、地元で消費される費用となる。その他費用は、プロダクションが準備する。

③『プールの水面で太陽追尾のソーラー発電』は、廃校小学校のプールにおいて実施する太陽光発電で、廃校で使うエネルギーを自前で調達する。

④『公園や広場など憩いの場に「ピラミッド風車』』というのは、垂直軸の風車で「ピラミッド」の名前から、

エジプトの古墳と同様に、前方後円墳のある川西町では特にふさわしい「モニユメント風車」となる。

⑤『街路にメッセージを伝える「エコウイング」』は、川西の町を明るくし、メッセージを伝える風車である。風車の製作は「廃校小学校」と、周辺企業で行う。全国に普及させ、100万円×年間200台出荷で、2億円ビジネスを想定、通常の雇用を生む。

⑥『駅前にも「ウェルカムゲート」&通路には、「クロスゲート」』

⑦『圧縮空気で走る「アエローベル」』

⑧『アーティスト・イン・レジデンス』は川西町交流館あいばるで美術品制作を滞在型で行う。作品は川西町に寄贈される。

⑨『ヘリポートの開設とインバウンド』など、他の自治体が聞いたらすぐにでも事業化したような「先進的な田舎づくり」の提案にどう対応するか。

**町長** 詳細な検討や十分な検討が必要となり、現状では困難である。

**その他の質問** ①Jアラートの動作について②緊急対応などの最前基地について、また【通信環境の整備と展開】①高速通信回線の整備について②時代が求める光通信について質問した。



鈴木清左衛門 議員



展望台付き発電風車 = カナダ・バンクーバー (写真提供、トリップアドバイザー)

※インバウンド 外国旅行者の受け入れ



健康で明るく楽しく元気にくらす = 健康レクリエーション大会

**橋本** 来年度(30年度)から国民健康保険を県が運営することになる(県統一化)。当初、県内の国保保険税が平準化され、保険税の高い川西町にとっては有利なものと認識していた。

しかし、内容が明らかに異なるに従い、財政は県が握り、賦課・徴収は町が行うということだが、従来の方式より運営しにくくなるの

ではないか。国保会計の規模が大きくなり安定的な給付となる。事務の効率化、標準化が図られ制度自体の安定化にもつながる。

**橋本** 県から割り当てられる納付金は100パーセント納めなければならぬから、町民からの保険税の徴収が厳しくなる。国保の加入者は所得の低い傾向があり、最

**町長** 保険者努力支援制度が新設され、国が一定の指標に基づき評価を行い財政支援を行う予定である。一層の健康づくりを進め、財政支援を受けられる努力をしたい。

**橋本** 安倍内閣は教育勅語を教材として使用することを容認した。国民を戦争に突

**町長** 詳細な検討や十分な検討が必要となり、現状では困難である。

**その他の質問** ①Jアラートの動作について②緊急対応などの最前基地について、また【通信環境の整備と展開】①高速通信回線の整備について②時代が求める光通信について質問した。

## 新制度国保

## 一般質問

### 新制度の国保税はどの位になるか

### 町長 - 現状の税額とほぼ同じになる



橋本欣一 議員

近では、非正規労働者や経済の低迷で、国保税が収入の相当な割合を占める場合が多く、保険税の引き下げの要求が強くなっている。国では医療費削減のため、県を通して給付費を引き下げる指導があった。また滞納率なども住民に見えるようにし、市町村に医療費削減の競争をさせようとしている。どう進めるか。

**町長** 今回の決定には困惑している。国・県の動向を注視し適切に対応したい。

**橋本** 適切に対応するとは、使用するということか。

**町長** 適切に対応していく。

**橋本** 来年から道徳教育が教科として始まる。児童生徒を評価することになるが多様な価値観を画一的に評価できるのか、また、評価する側の評価の仕方はどうなっているか。

**町長** 評価については決まっていない。画一的に評価して点数をつける方向ではないようだ。



# 28年度予算減額補正 事業の確定によるもの

専決  
処分

平成28年度一般会計、国民健康保険事業および介護保険事業特別会計の専決処分が行われ、それぞれ承認を求められた。いずれも交付金の決定や、事業の確定によるもので、議会を招集する時間がなかったため、3月31日付で専決処分を行った。

専決処分された額は表の通りである。一般会計は、事業費の確定による減額。

国民健康保険事業は事務経費や出産一時金及び葬祭費の減額。介護保険事業では事務経費や介護サービス給付費などの減額に伴うものである。

### 専決処分とは

議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意思決定を行うこと。

## 専決処分した平成28年度補正予算

項目	内容	補正額	総額
一般会計(第8号)	事業費の確定	▲4億6368万円	110億1882万円
国民健康保険事業特別会計(第3号)	事業費の確定	▲406万円	21億1365万円
介護保険事業特別会計(第5号)	事業費の確定	▲5746万円	18億81万円

### 全員賛成により承認

平成28年度の事業において、年度内にその事業の支出が終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越し使用することができ、表の3事業がそれに当たる。番号制度事務事業は、個人番号カード、通知カード関連事務に係る経費に充てる。臨時福祉給付金支給事業(緊急経済対策分)は、低所得者の負担を軽減するため、対象者への給付金の支給に充てられる。また、橋梁長寿命化修繕整備事業は、安心な道路交通確保のため、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁の

繰越  
明許

## 平成28年度から繰越した事業

事業名	繰越額	財源内訳		
		既収入特定財源	国県支出金	一般財源
番号制度事務事業	126		126	
臨時福祉給付金支給事業	5215	5215		
橋梁長寿命化修繕整備事業	120		71	49

### 全員賛成により承認

点検作業に充てられる。町は、番号制度事務事業と臨時福祉給付金事業を30年3月まで、また、橋梁長寿命化は29年9月まで完了予定とし、遅滞なく推進するとしている。

繰越明許とは年度内に予定していた事業が終わらず、予算を次年度に繰越して事業を完成させること。議会の承認が必要。

## 3事業繰越

### 次年度へ

## まどか収益好調

# リニューアル効果持続

報告



好評につき連日満席。まどかレストラン「燦々」

株式会社ダリヤパークサービスは、町民のクサービスは、町民の保養・健康増進・地域間交流を推進するため事業を展開している。平成26年の大規模改修により利用者の利便性が増し、27年、28年とリニューアル効果が継続している。

温泉利用者は8万9321人(前年比17パーセント増)、宿泊は6312人(9パーセント増)、宴会利用者は1万8929人(3パーセント減)、レストラン利用者は2万1531人(32パーセント増)、総利用者数で

13万6093人(15パーセント増)となった。経営面では仕入食材の高騰や従業員の福利厚生の実を図ったことなどにより、純利益が468万2千円(前期比70パーセント減)となった。

事業面では、レストランでの川西中学校3年生を対象にした洋食テールマナーは好評であった。また、岩手県大槌町の食材を使うなど創意工夫が功を奏している。

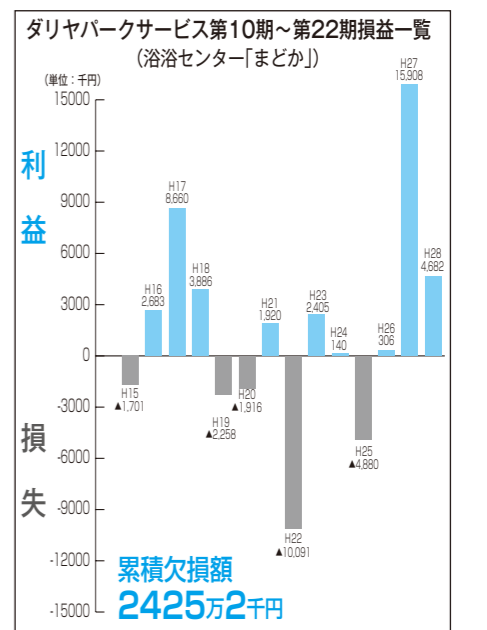
今後は、置賜農高生とのコラボレーションによる山形地鶏、チーズ活用など置賜農高との一層の連携が期待されている。

川西町土地開発公社の拡幅のための買収で、2件目は、中小松地内ホームセンター東隣用地の買収で、6次産業化施設整備(加工施設)が予定されている。

町からの用地買収委託申請があり、町有地の委託買収が2件あった。1件目は、町道八ツ口宿線道路改良事業用地で、尾長島トマト団地開設に伴い一部道路

### 川西町体育振興公社

川西町民総合体育館と川西町総合運動公園の管理運営を行い、町民の健康体力づくりの拠点として施設機能の充実を図ってきた。7月には全国高校総体ホッケー競技が開催される。この機に、利用者拡大で健康体力増進を。





# 請願

## テロ等組織犯罪準備罪反対

### 法律制定により取り下げ

「共謀罪」と同趣旨の「テロなど組織犯罪準備罪」創設に反対する請願が、総務文教常任委員会において審査され、願意妥当で採択された。だが、6月15日に国会で成立したことを受け、請願者から取り下げの手続きが取られた。

#### 取り下げ

◎請願第1号

「共謀罪」と同趣旨の「テロなど組織犯罪準備罪」創設に反対する請願

《請願者》

南陽市二色根45-2  
東置賜地区平和センター  
議長 太田 吉運  
《紹介議員》

鈴木清左衛門

齊藤 智志

伊藤 進

《審査の経過と結果》

請願の趣旨は、「個人の内心や思想そのものを処罰対象にするもので、実際の行為や結果が生じなければ罪には問われない現行刑法



まだ説明不十分な法律 = 山形市での集会

# 人事

## 人権擁護委員

### 2人の諮問に同意

人権擁護委員について、法務大臣より推薦の依頼があったので、議会に諮問された。

- 貝 沼 新 八 川西町大字玉庭
- 高 橋 佳 子 川西町大字西大塚

全員賛成で同意

し意見書の提出を求めらるもの。

請願の審査は、定例会第1日目に総務文教常任委員会に付託され、委員会において慎重に審査を行い、賛成多数（賛成3、反対2、棄権1）により採択さ

れた。意見書提出は、国会審議や国会会期末などの状況を見ながら準備を進めていた。しかし、6月15日に参議院本会議において法律制定となったことに伴い、6月16日請願者から、請願取り下げの申し出があった。議会最終日の本会議において、請願取り下げの申し出を許可した。

全員賛成により取り下げを許可

# 過疎地域自立促進計画

## 未来ビジョン

### 主要プロジェクトを追加

過疎地域自立促進計画は、人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に

比較して低位にある、過疎地域の総合的かつ計画的な対策を実施するため、人口減少率等一定の要件を満たす町村が策定している。

計画を策定することにより、財政的に有利な過疎対策事業債を発行できる。当該計画における事業内容に通学路安全対策、プール整備事業及びスクールバス整備事業を追加する。

また、「その他地域の自立促進に必要な事項」に新たな対策として、かわにし未来ビジョンに掲げる4つの主要プロジェクト（地域活性化、移住・定住促進、生涯現役、女性にやさしいまちづくり）を追加する。これによって人口減少及び少子高齢化の克服を目指す。

全員賛成により可決



より安全に使用できるプールに変わった。泳ぐのが待ち遠しい = 玉庭小

## 6月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

町提案 諮問2件、議案12件、議員発議5議案、  
全議案について全員賛成により可決した。

## 5月臨時会の議決状況

町提案 議案1件、議員発議5議案、  
全議案について全員賛成により可決した。



# 使い道はこうでした

## 議員に交付する政務活動費の用途

経費	内容
調査研究費	議員が行う町の事務、地方行政等に関する調査研究(視察を含む。)及び調査委託に要する経費
研修費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む。)に要する経費 2 団体などが開催する研修会(視察を含む。)、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
広報・広聴費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会議費	1 議員が行う各種会議、住民相談等に要する経費 2 団体などが開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資料購入費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事務所費	議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費
事務費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

議員活動に対して毎月1万円の政務活動費が交付されている。議会では議会基本条例にもとづいて、用途を平成25年度から公表している。

各議員から報告があった、平成28年度の政務活動費の用途状況は下記の表のとおりである。議会ホームページでは領収書の公表を、県内では最初に行っている。

(単位：円)

議員名	支出										収入	
	調査研究費	研修費	広報・広聴費	要請陳情費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費	政務活動費	その他
加藤 俊一	57,776						9,024		67,360		120,000	14,160
高橋 照夫	63,953						9,024		67,360		120,000	20,337
佐々木賢一	71,680						9,024		54,400		120,000	15,104
金子 一郎	71,680						9,024		67,360		120,000	28,064
高梨 勇吉	63,953						9,024		49,666		120,000	2,643
齋藤 修一	57,776					40,500			45,750		120,000	24,026
淀 秀夫	71,680						9,024		67,360		120,000	28,064
斉藤 智志	88,947					40,500					120,000	9,447
遠藤 章一	57,776					28,464			67,360		120,000	33,600
橋本 欣一					16,000	23,784			82,425		120,000	2,209
神村 建二	63,953					8,814			22,000		120,000	8,847
鈴木清左衛門	57,776						73,440				120,000	11,216
鈴木 幸廣	63,953						82,464		22,000		120,000	48,417
伊藤 進	63,953						9,024		69,174		120,000	22,151
伊藤 寿郎	71,680						9,024		53,600		120,000	14,304

# 平成 肉用牛課税特例を33年まで

## 第1回臨時会 5月1日

地方税法の一部改正により、町税条例、町国民健康保険税条例、町都市計画税条例の一部を改正するもの。

主な改正内容

(1) 町税条例関係

① 控除対象配偶者の名称を同一生計配偶者に

② 肉用牛売却による事業所得に係る町民税課税の特例期間を平成33年まで延長。

③ 特定事業所内保育施設の固定資産税課税特

変更。(該当者の所得金額要件は、76万円未満から123万円以下に変更。)

平成31年1月1日施行



高値持続、安心・安定の米沢牛生産

例割合を2分の1とする。

④ 軽自動車のグリーン化特例適用期間。平成31年度まで2年間延長する。

(2) 国民健康保険税条例の一部改正関係

① 軽減判定所得基準額の見直し。

・ 5割軽減 33万円 + 27万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)

・ 2割軽減 33万円 + 49万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)

・ 7割軽減判定所得基準額33万円は据え置きとなる。

(3) 川西町都市計画税条例の一部改正関係

① 特定事業所内保育施設に対する課税特例割合を2分の1とする。

施行 記載日以外平成29年4月1日施行

全員賛成により可決

## 広報モニターから ひとこと① 吉島 小形 徹郎 さん



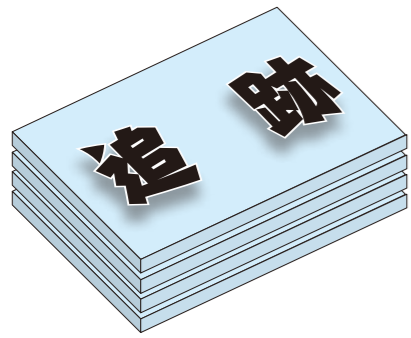
続けたい議会傍聴  
私が議会を傍聴するようになってから2年がたちます。それまでは、かわにし議会だよりを読むか、NCVの放送を見るかでした。一度は必ず議会傍聴に行きたいと常に思っていました。

実際に傍聴すると、

2年間、議会傍聴で感じたことは川西町の議員の方々は立派な優しい人ばかりが多く、遠慮なくもつと自分の意見をぶつけた方が良く、私も健康であれば、議会傍聴を続けたいと思います。

質問に立つ議員の考えや人柄までが分かってきます。そんな中、6月定例会一般質問で5人の議員が質問しましたが、一番注目したのは、ベテラン議員が行った「庁舎建て替えについて」の質問でした。しかしながら、町の回答は優等生のような答弁でした。どれ位の予算で、いつ頃、どこに建てるのかきちんと示す時期がきたのではなにかと思いましたが。現在ある建物を再利用する考えはないのか、いろいろと私なりに考えさせられた質疑応答でした。





# あれから…… どうなった!



ふるさと納税、有効活用されています = H28年川西夏まつり

過熱気味のふるさと納税の返礼品について、中身重視か、薄利多売か、市町村によって考え方が違う。体力のある市町村だけが生き残れる消耗戦になってきた感があったが、総務省からの自粛の勧告で冷静な判断に変わってくるのか注目される。とかく「入り」は注目されるが「出」である使い道はどうなっているか、追跡してみた。

## ふるさと納税の使い道 次世代対策などに

平成27年6月定例会の一般質問  
「ふるさと納税の状況」が質問された

川西町が受けた寄付額は、制度が創設された平成20年度から9年間の総額で、3218件の7594万円。28年度に急増し、1年で2043件、5820万円だった。返礼品については寄付金額により4ランクに分け、送料込みの3割から5割程度の返礼率を設定している。米沢牛肉、米、地酒が人気だ。現在総務省から、返礼率を3割以下にするよう通知があったことを受け、置賜各市町の動向を注視し検討を行っている。

町では特に地域活性化のためにふるさとづくり寄付条例第2条に使用を規定し、  
① 幸せ健康元気づくり事業  
② 次世代を担う子ども育成事業  
③ 歴史文化の継承発展事業  
④ 環境保全及び景観維持、再生事業  
⑤ 自治の醸成及びコミュニティ推進事業  
⑥ 地域間交流事業  
の6つの事業を設定し、活用している。

その使い道は  
平成28年の使途はさらに拡充

項目	内容	金額	
返礼品	寄付者に対する返礼品代	3000万円	米沢牛肉、米、酒が人気
幸せ健康・元気づくり推進	高齢者賀寿事業	157万5千円	各地区敬老会補助など
次世代を担う子ども育成	若者向け住宅補助・3世代同居住宅支援 小中学校活動整備など	720万円 1445万3千円	住宅改修補助など 部活遠征等補助他
歴史・文化の継承発展	交流館管理事業など	146万4千円	バーベキュー・案内版整備など
環境保全及び景観維持再生	公有林整備事業	268万円	保育間伐(河原沢)事業など
その他	移住定住促進事業	550万円	空き家改修補助
	かわにし夏祭り補助	400万円	8/11開催実行委員会補助
	小学校施設維持管理	389万1千円	机等の備品購入
	中小企業団体支援事業	330万円	プレミアム商品券補助ほか
その他		463万2千円	
合計		7869万5千円	

## ここが違う 川西町議会活性化 今後の掲載予定

第1回	予算特別委員会の常設化
第2回	政策提言と検証評価
第3回	政務活動費の領収書公開
第4回	情報の公開
第5回	議会基本条例
第6回	条例の議員発議

## 第2回

### 政策提言と検証評価

平成25年3月に制定した「議会基本条例」は、前文に大きな柱として「町民参加の拡大」と「政策提言」を掲げている。その実現のために、町民との意見交換会を開催し、多様な意見を聞きながら、日頃の常任委員会の活動と併せて、政策提言に結び付けている。これまで、4回の政

策提言を実施しており、提言後1ヶ月を目途に回答を受けている。行政当局も議会の提言を重く受け止め、その実現に努力している。さらに、本町議会は政策提言にとどまらず、提言から1年後にその事業がどのように進捗したか、独自の検証評価を実施しており、全国的にも先進的な取り組みとされている。

検証の基準は、議会基本条例第8条に明記されている。  
① 政策を必要とする背景  
② 提案に至るまでの経緯  
③ 町民参加の実施の有無およびその内容  
④ ほかの自治体の類似する政策との比較検討  
⑤ 総合計画における根拠又は位置づけ  
⑥ 財政  
⑦ 将来にわたる政策などの効果およびコスト  
以上7項目について、当局からは、議会の評価が厳しいと指摘されるが、それこそ二元代表制における議会の本領が発揮されているといえよう。

4回の政策提言を実施  
平成25年3月に制定した「議会基本条例」は、前文に大きな柱として「町民参加の拡大」と「政策提言」を掲げている。その実現に努力している。さらに、本町議会は政策提言にとどまらず、提言から1年後にその事業がどのように進捗したか、独自の検証評価を実施しており、全国的にも先進的な取り組みとされている。

提言した政策がどのように実施されたか、検証される。そのうえで、議員が到達度をA〜Eの5段階で評価し、全員の平均点がその評価となる。提言は、政策が十分に行われていない項目が多いので、なかなか評価が上がらない。



提言を町政に生かす

## 特集 議会活性化

## 政策提言 1年後に検証 ここが違う川西町議会



# 全員協議会

定住自立圏構想、新庁舎整備等、今後の川西町の重要事業について、町長から事前説明が行われたほか、置賜広域病院企業団議会、置賜広域行政事務組合議会の協議結果が報告された。

# 新庁舎整備急ピッチで検討

5月1日  
全員協議会

1、定住自立圏構想の推進について

米沢市を中心市とし、置賜地域の市町村が連携して、定住自立圏の形成に向け検討を進める。圏域の共生ビジョンを策定して行う事業に対して、国から特別

5月22日  
全員協議会

交付税の財政措置がある。1、平成30年度川西町重要事業要望について

国道287号規格の高い道路の整備促進、メデイカルタウン構想の実現、水道老朽管更新の支援充実など、17

項目の重要事業の実現を目指す。6月5日、置賜総合支庁に要望活動を実施した。

6月16日  
全員協議会

2、障がいのある人もちづくり条例の設定について

障害者差別解消法の施行を受け、障がいに対する理解を深め、共生社会の実現を目指す。6月定例会に提案。

1、公共用地の取得に係る協議結果について

旧太平洋板跡地を取得するため、所有者の片倉工業(株)と交渉してきたが、売却価格、瑕疵(かし)担保責任等、引き渡し条件で折り合わず、取得を断念した。

案を策定したい。3、平成30年度からの国民健康保険制度について

30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、国保運営の中心的な役割を担う。市町村は、保険料(税)の賦課・徴収、保健事業等を行う。

4、置賜広域病院企業団臨時会の概要報告

議員交替による、議会人事が行われた。

5、置賜広域行政事務組合臨時会の概要

議会人事が行われたほか、高規格救急車の取得、浅川最終処分場建設工事請負契約締結等を議決。

6、議会基本条例の検証について

議会基本条例の定めにより、2年に一度条例を検証することにしており、議会運営委員長から検証結果が報告された。



庁舎整備、急ピッチで検討 = 未来創造室

3、新庁舎整備に向けた今後の進め方について

「基本計画」は、現状の課題、基本理念、規模・構造、位置、維持管理、業者選定・発注方式の6点について検討し、9月までに素

# 皆さんおいで下さい 3地区で開催 8/21・22

# 意見交換会



H28年度意見交換会・東沢地区=東沢活性化センター

議会では毎年地区ごとに、意見交換会を開催しています。5年目の今年は小松・大塚・中郡の3カ所で行われます。

答となりますが、要望意見などは今後議会が行う政策提言などに生かしていきます。また、質問は持ち帰って回答する場合もありますが、後日報告書で返答いたします。

## 日程

小松地区	8月22日(火)	午後7:00~9:00
	中央公民館 3階 視聴覚室	
大塚地区	8月21日(月)	午後7:00~9:00
	大塚地区交流センター	
中郡地区	8月22日(火)	午後7:00~9:00
	中郡地区交流センター	

## モニター・アドバイザー

よろしくお願ひします

2年の任期満了に伴い、議会広報のモニター・アドバイザーを新しくお願ひしました。

- 議会広報モニター
- 吉祥雄 (小松)
  - 佐藤知恵子 (小松)
  - 長谷川勝男 (大塚)
  - 佐藤真理子 (大塚)
  - 那須雄子 (中郡)
  - 浦田英明 (玉庭)
  - 佐藤美由紀 (東沢)
  - 小形徹郎 (吉島)

- 議会広報アドバイザー
- (文章)
- 金子勤 (小松)
  - 平田和雄 (大塚)
- (写真)
- 青木督平 (大塚)
  - 鴨源一郎 (玉庭)
  - 齋藤史郎 (小松)

まちの未来が見える (6月定例会の傍聴者は17人)

# 議会傍聴においでください

定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継  
議会フェイスブックもご覧ください

次の定例会は9月



# 町民の声

## にぎやかな町になればイイネ

西大塚地区にお住いの、金子亜沙美さんに、子育てや、町に望むことなどをお聞きしました。

### ◆ プロフィール ◆

**金子亜沙美(かねこ あさみ)**  
南陽市出身(川西町西大塚在住)  
夫、夫の両親、子ども2人の6人家族  
趣味：手芸



#### 川西町に住んで

南陽市から嫁いで7年になります。

私の自宅は西大塚から小松まで一望できる。広大な田園風景を見渡せる場所にあります。

8月に行われる夏祭りの際は、夜空に上がる花火が自宅の庭からでも大迫力で見る事ができます。田んぼだけではなく、山や川などの豊かな自然がたくさんある川西町がとっても大好きです。

#### 子育て世代の苦勞に頼もしいサポート

我が家は、私と夫、祖父と祖母、7歳と3歳の息子の6人家族です。平日は、大人は全員フルタイムで働いていて、子どもたちは学校や幼稚園に行っています。そのため学童や



総合的な子育て社会の充実を望む

幼稚園の延長保育は、とても助かっています。

子育ては、精神的な面やお金の面などで苦勞は絶えません。その分、町の補助や地域の方々のサポートがあつて成り立っているのだと思います。核家族が増える中、我が家には祖父と祖母の頼もしいサポートもあり、安心して楽しい子育てができています。

#### 川西町に望むこと

人口の減少、少子化が進む中、川西町は病児保育の設置やさまざまな医療の面なども含めて、比較的子育てし

やすい環境にあると思います。しかし、子供用品などどうしても町外に出て行かないと手に入らず、不便だなと感じることがあります。

先日、久しぶりに子どもを連れてダリヤ園に遊びに行ったら、遊具が新しくなっていました。子ども大喜びでした。川西町の素晴らしい公共施設を生かすつつ、子育て世代にとって利便性のある商業施設やイベントなどがあることで、今以上に川西町が活性化してにぎやかな町になれば良いなと願っています。

### 編集の後で

▼議会だよりが最優秀受賞後、全国の議会から目標にされているのを実感したのが、全国研修会だった。多くの議会が「目標は川西町」と言っていた▼私たちの究極の目的は、町民に読んでいただけの広報紙づくりである。追いかけてられていることを励みに、新メンバー一丸となって編集に取り組み。

(ささき)

- 発行責任者 加藤 俊一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 伊藤 寿郎
- 委員 橋本 欣一
- 同 神村 建二
- 同 鈴木 幸廣
- 同 伊藤 進
- アドバイザー(文章) 金子 勤
- 同 平田 和雄
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 同 鴨 源一
- 同 齋藤 史郎